

## ふりかえりプリント 10月第2週④

答えのらんをうしろにのってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

なまえ

### A 数と計算

① 計算をしましょう。

$$5 + 8 = \boxed{\phantom{00}} \quad 16 - 7 = \boxed{\phantom{00}}$$

② 赤い花が57本、白い花が26本あります。合わせて何本ですか。

答え

③ 77は19よりいくつ大きいですか。

答え

④ 6の4ばいはいくつですか。

答え

### B かたち・長さ・時間

① まるのかたちはどれですか。記号で答えましょう。



ア



イ



ウ

答え

② 150cmは何m何cmですか。

答え

③ 7L9dLは何dLですか。

答え

④ 午前と午後は、それぞれ何時間ずつありますか。

答え

### C 数とデータ

① 17より1小さい数はいくつですか。

答え

② 760の十のくらいの数字は何ですか。

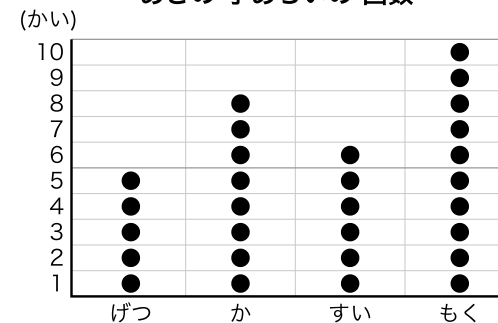
答え

③ 470は、10がいくつですか。

答え

④ あさの手あらいの回数しらべのグラフです。いちばん多いものといちばん少ないもののちがいは何かいですか。

あさの手あらいの回数



答え

こたえ (おもて)

A

①  $5 + 8 = 13$

$16 - 7 = 9$

② 83本

③ 58

④ 24

B

① ウ

② 1m50cm

③ 79dL

④ 12時間ずつ

C

① 16

② 6

③ 47こ

④ 5かい

まちがえた問題は  
消さずに、赤で書き  
なおしましょう。

2年 10月2週 (4) |

①=1年 ②③=2年

④=その週の新出

2-10-2-4 v6



まちがいをみつけたら  
教えてください

# ススキのほ

なまえ

おんどくサイン

秋<sup>あき</sup>の野原<sup>のはら</sup>で、ススキのほが白<sup>しろ</sup>く光<sup>ひか</sup>っています。近く<sup>ちか</sup>で見<sup>み</sup>ると、細<sup>ほそ</sup>い毛<sup>け</sup>がたくさんついてい<sup>い</sup>ます。

毛<sup>け</sup>のもとには、小<sup>ちい</sup>さなたねが一つ<sup>ひとつ</sup>ずつついてい<sup>い</sup>ます。毛<sup>け</sup>は、たねのパラシュート<sup>ぱらしゅーと</sup>です。ほ<sup>いっぽん</sup>一本<sup>いっぼん</sup>に、たねが何<sup>なんじつ</sup>十<sup>じつ</sup>こもついてい<sup>い</sup>ます。

風<sup>かぜ</sup>がふくと、たねは毛<sup>け</sup>ごとなれて空<sup>そら</sup>へまい上<sup>あ</sup>がります。とてもかるいので、川<sup>かわ</sup>のむこうま<sup>で</sup>ではこばれることもありま<sup>す</sup>す。春<sup>はる</sup>になると、はこばれたさき<sup>で</sup>で芽<sup>め</sup>が出<sup>で</sup>ます。ススキがあちこ<sup>ち</sup>ちに生<sup>は</sup>えているのは、風<sup>かぜ</sup>にたね<sup>を</sup>をあずけてきたから<sup>です</sup>です。

(1) 「まい上がります」のいみに合うものを一つえらび、記<sup>き</sup>ごうに○をつけま<sup>し</sup>よう。

ア 地<sup>ち</sup>めんにおちる

イ まるくなる

ウ ふわりと高くのぼる

エ 止<sup>と</sup>まる

(2) ススキの毛<sup>け</sup>のもとについているものは何<sup>なに</sup>ですか。一つえらび、記<sup>き</sup>ごうに○をつけま<sup>し</sup>よう。

ア 小<sup>ちい</sup>さなたね

イ 水<sup>みづ</sup>のつぶ

ウ 虫<sup>むし</sup>のたまご

エ 花<sup>はな</sup>びら

(3) ススキの毛<sup>け</sup>は、たねの何<sup>なに</sup>だと

書<sup>か</sup>いてありますか。ぶんしょうから六<sup>ろく</sup>字<sup>じ</sup>で書<sup>か</sup>きぬきま<sup>し</sup>よう。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

(4) ススキがあちこちに生<sup>は</sup>えているのはなぜ<sup>なぜ</sup>ですか。書<sup>か</sup>きま<sup>し</sup>よう。

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

書<sup>か</sup>くときのポイント

「くから」でおわらせる。

「風<sup>かぜ</sup>」というこ<sup>こと</sup>ばをつかう。

こたえ (うら)

問1 ウ

問2 ア

問3 パラシュート

問4 (れい) 風に  
たねをはこんで も  
らう から。

〈○のつけ方〉

問1～問3は、答<sup>こた</sup>えと  
おなじなら○。

問4は〈風<sup>かぜ</sup>がたねをは  
こぶ〉が書<sup>か</sup>けていれ  
ば○。

2-10-2-4 v6

2年 説<sup>せつ</sup>明文<sup>ぶん</sup>